

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科シラバス

<履修認定の方法について>

理容師養成施設設置基準による規定時間数を受講していることを前提に、年3回(2年間で6回)の試験を実施する。理論科目については筆記試験、実習科目については実技試験を行う。全課程修了時に評点を平均し最終評価を行う。

<評価基準について>

90点以上「S」 80点以上「A」 70点以上「B」 60点以上「C」 59点以下「D」
C以上を合格とする。

<GPAの算定について>

GPは「S」=4 「A」=3 「B」=2 「C」=1 「D」=0 とする。
各科目は履修時間30時間を1単位として算出する。

<デュプロマポリシー>

理容師国家資格取得が目標であるため、養成施設の設置基準に従い理容師の受験資格を有することを卒業認定の基準とし、卒業判定会議で決定する。

具体的には2年間で規定科目2,010時間を履修しD評価科目がないこと。

なお、進級にあたっては、進級判定会議を行い、卒業基準を満たす可能性がない場合は進級を認めない。

<各課目の規定時間数>

	履修課目	必修の別	規定時数	実務経験教員
1	関係法規・制度	必修	30	-
2	衛生管理	必修	90	○
3	保健	必修	90	○
4	香粧品科学	必修	60	○
5	文化論	必修	60	○
6	運営管理	必修	30	○
7	理容技術理論	必修	150	○
8	理容実習	必修	900	○
9	パーソナルカラー	選択	60	○
10	接遇・マナー	選択	60	○
11	理容総合 I (メイク、セット等)	選択	90	○
12	特別講義 I	選択	150	○
13	特別講義 II	選択	90	○
14	選択コース	選択	120	○

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
関係法規・制度	必修	30	山崎	-

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・法制度の概要 ・衛生行政の概要 ・理容師法／美容師法 ・関連法規

1年次到達目標/進級判定

2年次到達目標/卒業判定
≪1学期≫ 社会生活における法の役割・法の形式・衛生法規の概要・衛生行政の意義と歴史・衛生行政の分類と生活衛生行政の内容・衛生行政を担う行政機関 ≪2学期≫ 理容師・美容師法の目的・用語の定義・人「理容師、美容師」に関する規定・施設「理容師、美容師」に関する規定・立ち入り検査と環境衛生監視員・違反者等に対する行政処分・罰則 ≪3学期≫ 国家試験対策 * 卒業判定／60点以上

評価(判定)の方法と基準	筆記試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
衛生管理	必修	90	井手	23年

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生 <ul style="list-style-type: none"> 1.公衆衛生の概要 2.保健 ・環境衛生 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症 <ul style="list-style-type: none"> 1.感染症の総論 2.感染症の各論 ・衛生管理技術 <ul style="list-style-type: none"> 1.消毒法総論 2.消毒法各論 3.消毒法実習 ・衛生管理技術の実践例

1年次到達目標/進級判定
<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生について理容師・美容師(理容業・美容業)の立場から以下の内容を学ばせ理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> 1.公衆衛生の意義と課題 2.公衆衛生発展の歴史 3.理容師、美容師と公衆衛生 4.保健所と理容業・美容業 ・環境衛生について理容師・美容師として必要な内容を学ばせ理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> 1.環境衛生の概要 2.空気と環境 3.衣服と住居の衛生 4.上下水道と廃棄物 5.衛生害虫とネズミ 6.環境保全 ・進級判定 定期試験等により各学生の理解度を把握し、通年評価でC=60点以上の者を進級の対象とする。

2年次到達目標/卒業判定

・感染症について以下の内容を学ばせ理解させる。
 1.人と感染症 2.病原微生物 3.感染症予防 4.理容・美容と感染症
 5.主な感染症 6.具体的な対策の例
 ・理容師、美容師として不可欠な消毒(衛生管理技術)について学ばせ修得させる。
 1.理学的消毒法 2.科学的消毒法 3.優れた消毒法と実施上の注意
 4.各種消毒薬 5.消毒の実際 6.清潔法の実際 7.実践例

・卒業判定
 定期試験等により各学生の理解度を把握し、通年評価でC=60点以上の者を卒業の対象とする。

評価(判定)の方法と基準	筆記試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
保健	必修	90	野中	15年

履修内容

- ・頭部、顔部、頸部の体表解剖学
- ・骨格器系
- ・筋系
- ・神経系
- ・感覚器系
- ・血液、循環器系
- ・呼吸器系
- ・消火器系
- ・皮膚の構造
- ・皮膚付属器官の構造
- ・皮膚の循環器系と神経系
- ・皮膚の皮膚の付属器官の生理機能
- ・皮膚の皮膚付属器官の保健
- ・皮膚の付属器官の疾患

1年次到達目標/進級判定

- ・人体の位置や方向を説明する言葉を理解させる。
- ・人体各部の名称を覚えさせる。
- ・骨の種類と構造を覚えさせる。
- ・筋の種類と構造を覚えさせる。
- ・神経系の構造と機能を理解させる。
- ・感覚器の構造と機能を理解させる。
- ・血液成分、血液循環のしくみ、心臓、血管、リンパ管のしくみとはたらきを理解させる。
- ・肺の仕組みとガス交換、呼吸運動のはたらきを理解させる。
- ・消化器系の全系と消化管での食物の流れるしくみを理解させる。
- ・皮膚の体温調節、知覚、分泌、排泄、吸収、免疫、修復などの重要な作用を理解させる。
- ・脂腺、汗腺、毛、爪の構造と機能を理解させる。
- ・皮膚の血管、リンパ管、神経のはたらきを理解させる。

2年次到達目標/卒業判定

- ・皮膚の付属器官の生理機能のはたらきを理解させる。
- ・皮膚と健康状態の関係を理解させる。
- ・皮膚と水分、脂の状態を理解させる。
- ・皮膚・付属器官とホルモンの関係について理解させる。
- ・皮膚・毛・爪の保護と手入れについて理解させる。
- ・皮膚疾患について理解させる。
- ・毛と爪の疾患について理解させる。

評価(判定)の方法と基準	筆記試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
香粧品科学	必修	60	香田	25年

履修内容
<p>・香粧品の原料、配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性も含めた安全性について学ぶ</p>

1年次到達目標/進級判定
<p>・香粧品化学を理解するための基礎化学 ・1章 香粧品概論≪1節 香粧品の社会的意義と品質特性≫ 進級判定/60点以上であること</p>

2年次到達目標/卒業判定
<p>・1章 香粧品概論～6章 芳香製品と特殊香粧品まで 卒業判定/国家試験合格レベルに達成していること(60点以上であること)</p>

評価(判定)の方法と基準	筆記試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
文化論	必修	60	山口めぐみ	15年

履修内容
第一章 総論 第二章 日本の理容業、美容業の歴史 第三章 ファッション文化史 日本編 第四章 ファッション文化史 西洋編 第五章 礼装の種類

1年次到達目標/進級判定
日本の理容業、美容業の発生や歴史を学び、理美容業界について理解を深めます。

2年次到達目標/卒業判定
日本編は縄文から現代ま、西洋編は古代エジプトから現代までの髪型やファッションを学びます。歴史を通して流行の仕組みや価値観の変化を理解します。また、和装・洋装の礼装について理解を深め実社会で対応できるように準備します。国家試験内容に沿ったワークブックや模擬問題で合格水準を目標とします。

評価(判定)の方法と基準	筆記試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
運営管理	必修	30	香田	25年

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・「経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割」 ・「人を雇うこと責任や働く上でもとめられること」 ・「顧客を満足させるサービスとは何か。それをどう実現するかについて」 <p>* 運営管理を通して、経営者の視点を理解することでサロンで従事したときにみずからどのように行動するかわかり、仕事がどのように創られているのかを理解する</p>

1年次到達目標/進級判定

2年次到達目標/卒業判定
<p> ≪1学期≫ * 第1編「経営者の視点」 ≪2学期≫ * 第2編「人という資源 従業員としての視点」 ≪3学期≫ * 第3編「顧客のために」 * 卒業判定/60点以上 </p>

評価(判定)の方法と基準	筆記試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
理容技術理論	必修	150	井手/野中	23年/15年

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・理容技術の基礎 ・理容用具 ・ヘアデザイン ・ヘアカットイング ・ヘアセッティング ・パーマメントセット ・ヘアカラー ・シェービング ・理容エステティック ・理容クリニック ・シャンプー&リンシング ・理容マッサージ ・ヘアトリートメント ・スカルプトリートメント

1年次到達目標/進級判定
<ul style="list-style-type: none"> ・施術対象である頭部・顔面・手指の部位や名称を正しく理解させる ・用具の各部の名称を学習させる ・用具の種類と特徴を理解させる ・用具の形態や機能を理解させ、選定や手入れの方法を学習させる ・ヘアスタイルをつくるのに必要なヘアデザインの条件を学ばせる ・カットイングの原理・原則を具体的に理解させる。 ・ヘアスタイルにあったヘアセッティング方法を理解させる。 ・シェービングには肌に対する知識と正確な熟練した技術が必要と理解させる ・ひげの基本的な種類や手入れ法を指導する。 ・顔の特徴を的確にとらえることを理解させる。 ・スキンと化粧料の知識を学ばせる。 ・シャンプーの目的と洗浄のメカニズム、シャンプー剤の原料や種類を理解させる。 ・リンスの目的や機能、リンス剤の種類について学ばせる。 ・ワインディングのステムの角度とボリュームの関係や配列を理解させる。

2年次到達目標/卒業判定
<ul style="list-style-type: none"> ・理容クリニックの基礎知識をしっかりと身につけさせる。 ・ヘアトリートメントの目的、種類や効果について理解させる。 ・パーマの原理・原則を理解させる。 ・パーマメントウエーブ用剤を理解させる。 ・パーマ技術での毛髪・頭皮を傷めないことを指導する。 ・染毛剤の種類と特徴を理解させる。 ・ヘアカラー剤の種類による染まり方の違いを理解させる。 ・ブリーチでの色が抜けるしくみ、毛髪に染まるしくみを理解させる。 ・カラーリングの安全性と取り扱いについて理解させる。 ・デザイン幅を広げる技法について理解させる。

評価(判定)の方法と基準	実技試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
理容実習	必修	900	井手/野中	23年/15年

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・パーマメントウエービング ・シャンプー&リンシング ・ヘッドマッサージ/クリニックマッサージ ・スタンダードケア ・デザインヘア ・ヘアセッティング ・アイアニング ・ヘアカラーリング ・シェービング ・ハンドケア/フットケア ・ヘアクリニック

1年次到達目標/進級判定
<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグでワインディング操作を訓練させる。 ・用具の持ち方と操作を正しく覚えさせ、操作を無意識にできるようになるまで訓練させる。 ・技術の時の姿勢を体得させる。 ・国家試験課題のミディアムヘアのカットシステムを理解させ、習得させる。 ・デザインカットのワンレングス、グラデーション、レイヤーのカットシステムを習得させる。 ・国家試験課題「シェービング技術」を合格レベルに到達させる。 ・相モデルでワンシェービングの訓練をさせる。 ・シャンプー技術のマッサージの順序を覚えさせ、指のあて方、力の入れ具合などをトレーニングし、快感を与えられることができるよう習熟させる。 ・ヘアカラーリングの準備と塗布の手順を訓練させる。 ・ヘッドマッサージ、クリニックマッサージの順序と方法を習得させる。

2年次到達目標/卒業判定
<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験課題「ミディアムカット」を合格レベルに到達させる。 ・基本セットを習熟させる。 ・メンズドライヤーセット仕上げを習熟させる。 ・レディースヘアのブロー、アイロン仕上げの手順を訓練させる。 ・相モデルでツーシェービングを訓練させる。 ・頭皮診断を行い、スキャルプケアの手順を習得させる。 ・パーマメントセット、アイロンパーマを理解させ、実際にかけてさせる。

評価(判定)の方法と基準	実技試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
パーソナルカラー	選択	60	丸内	5年

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・種類 色のしくみ ・色の三属性と対比現象 ・色の感情効果 ・CUS表色系(カラーアンダートーンシステム) などの基本を学ぶことで、メイクやヘアカラー、ブライダルなどへの応用を学ぶ。

1年次到達目標/進級判定
≪1学期≫ 色彩と文化 色彩理論 ≪2学期≫ パーソナルカラー理論 色彩とファッション ≪3学期≫ パーソナルカラリスト3級検定対策 * 進級判定/60点以上

2年次到達目標/卒業判定

評価(判定)の方法と基準	実技試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
接遇・マナー	選択	30	黒田彩	9年

履修内容

- 接遇、コミュニケーションマナーの基本
- 自己理解と他者理解による人間力の向上
- 理美容師としての接客力の向上

1年次到達目標/進級判定

- 接遇力、人間力、コミュニケーションマナーの定着
- 自己と他者、各々の理解の定着
- 理美容師としての接客の基本の習得

2年次到達目標/卒業判定

- コミュニケーションマナーを用いたチームワークの構築
- 面接対応力の向上
- 実践的な接客力

評価(判定)の方法と基準	筆記試験または実技試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
理美容総合/セット・アップ	選択	30	井樋	15年

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・髪を一つに束ねる ・シニオンをつくる ・夜会まき ・新日本髪 ・シニオン(応用編) ・こて巻き・スネーク ・編み込み ・自己アレンジ

1年次到達目標/進級判定
TPOに合わせて求められるヘアスタイル・アップが自在にできるようになることが目標

2年次到達目標/卒業判定

評価(判定)の方法と基準	実技試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
選択コース ブライダルビューティ	選択	120	・山口・岸川 ・井樋・宗・鶴	15年/24年 /15年/10年 /15年

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ボディージュエリー ・アイラッシュ ・着付け ・ブライダルメイク ・エステティック

1年次到達目標/進級判定
ボディージュエリーが合いモデルでできるようになる アイラッシュが合いモデルでできるようになる

2年次到達目標/卒業判定
振袖を着付けられるようになる ブライダルメイクが合いモデルでできるようになる エステがが合いモデルでできるようになる

評価(判定)の方法と基準	実技試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上

2019年度シラバス

アイ・ビービューティカレッジ 衛生専門課程 理容科/美容科 2年制

課目名	区分	規定時間数	担当	実務経験
選択コース ヘアデザイン	選択	120	岸川/荒木 中村/野中	24年/31年 /39年/15年

履修内容
<ul style="list-style-type: none"> ・エアーエクステ ・アイラッシュ ・ヘアアレンジ ・デザインカラー ・デザインカット

1年次到達目標/進級判定
<ul style="list-style-type: none"> ・エアーエクステは認定資格の取得が目標。 ・アイラッシュは理論と実技を習得する。

2年次到達目標/卒業判定
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアレンジ・デザインカラー・デザインカラー・デザインカット・ヘアデザインの理論と実技を習得する。

評価(判定)の方法と基準	実技試験			
評価(判定)基準	S=90点以上	A=80点以上	B=70点以上	C=60点以上